

令和元年度 本校のユネスコスクールとしての取り組み

渋谷教育学園幕張中学校・高等学校

ユネスコスクール担当：五月女圭三

本校の「自調自考の力を伸ばす」「倫理観を正しく育てる」「国際人としての資質を養う」という理念にのっとり、継続して実践することによって得られる教育的な効果を考えて、以下のよう
な教育活動を行っている。

① 自調自考に係わる教育

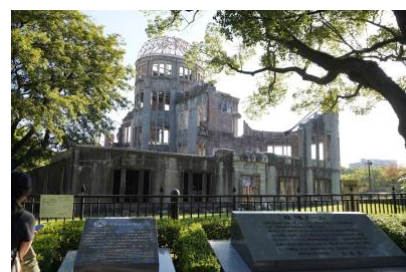
本校教育実践の基本目標である「自調自考の力を伸ばす」は、自らの手で調べ、自らの頭で考える力を伸ばす教育である。その一つとして、生徒は高校3年間を通して課題研究に取り組んでいる。生徒の興味は多様である。個々の考えを大切にし、それぞれの才能を伸ばすための研究である。フィールドワーク、実験などの手法を用いて最終的には論文という形でまとめた。



自調自考論文集

② 平和教育に関わる活動

高校1年生では、毎年、広島あるいは長崎で平和学習が続いている。今年度は広島をフィールドとして実施した。生徒は平和学習としてそれぞれがテーマをもって広島市内や呉市を中心にフィールドワークや施設の見学、被爆者の体験講話などを実施した。



広島研修

③ 国際人としての資質を養う活動

語学研修や家庭体験を目的としたニュージーランドホームスティプログラム（中3）、文化交流を目的とした中国修学旅行（高2）、高校生希望者による短期海外研修として、アメリカ研修（西海岸でのホームスティ）、次世代リーダープログラム（バーバード大学での研修）、北京研修（相互交流）、ベトナム研修（姉妹校訪問）、イギリス語学研修を実施した。3月に毎年実施しているシンガポール研修（相互交流）については、コロナウイルスの影響で、9月に受入れのみを行った。

長期留学として、ブラジル、アメリカ、チェコ、ドイツ、韓国、香港などからの留学生を受け入れた。また、海外大学進学を目指す生徒が増加していることを受けて、海外大学進学支援を行なっている。

ニューヨークで開催される高校模擬国連国際大会に日本代表として参加し優秀賞を獲得した。また、JICA研修生との交流会（年2回）などさまざまな活動を実施した。



JICA研修生との交流会

④ ユネスコ関連団体のプログラムへの参加

日本ユネスコ協会連盟やかめのり財団の主催する高校生カンボジアスタディーツアー、国際交流プログラム、かめのりスクールなどへ積極的に応募した。実際には、夏の「かめのりスクール」や、「かめのり中高生アンバサダープログラム2020」（2020年1～2月）へ参加した。また、教員研修として、ACCUが国際連合大学の委託を受けて実施している中国への教職員派遣プログラム（2019年6月）へ参加している。



昆明市西山区書林第一小訪問